

INTER COOLER Chemical Shine
CS

“BLITZ” means the ability to progress, every performance parameter of the motor-car. Established in 1980 “BLITZ” has developed and evolved automotive.

取 付 説 明 書

RX-7

FD3S

BLITZ

この度は弊社製品を御買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

お願い！！

- この取り扱い説明書には製品を使用する際と自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになって、正しくご使用下さい。
- 本書は、いつでも取り出して読めるように車内に大切に保管しておいて下さい。

装着車輛可能車輛と製品の仕様

- 車 名：MAZDA RX-7
- 型 式：FD3S
- エンジン：13B-REW
- 年 式：1991 年 11 月～
- 製品名称：BLITZ INTER COOLER Chemical Shine
- 製品番号：13119

製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせ連絡は、お電話またはFAXにて下記宛にお願いします。

- 連絡先：(株)ブリッツ
- TEL：0422-60-2277
- 住 所：東京都西東京市新町 4-7-6
- FAX：0422-60-0066

はじめに確認して下さい！

- この製品は、表記リストの部品及び付属品で構成されています。不足品や不具合のある場合は販売店または弊社までご連絡下さい。
- 本製品を装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えると装着不良で空気漏れや故障の原因になる場合がありますので十分に注意して下さい。

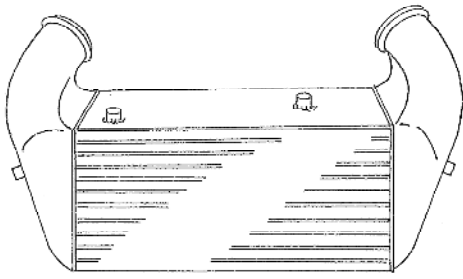
重要事項の確認

- 本製品はノーマル車輛を基準に製作されています。社外品（純正品以外）のパーツ（パイピングKIT、ブローオフバルブ、オイルクーラー等）を装着されていたり、事故歴のある車輛の場合は本KITの装着ができない場合があります。
- 本製品の装着にはエアコンのガス抜き・補充等の特殊作業をとまいます。
- 本製品を装着するにはバンパー等の加工作業が必要です。また、加工の際には必ず保護メガネ・軍手等の保護具を使用して安全に作業をおこなってください。
- 本製品の装着には、専門知識と加工技術、及び特殊工具が必要です。
- 本製品を装着すると、車輛によりブースト圧の調整及び燃料セッティングが必要になる場合があります。
- 本製品を装着するに当たり、本KIT指定サイズのバッテリーへの交換が必要です。
また、バッテリーサイズの変更にともないターミナル端子も変更する必要があります。
バッテリーサイズ：40B19L
ターミナルサイズ：D端子→B端子
- 作業中に車が動きだしたりしない様に平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停止させて下さい。また、エンジンが完全に冷えてから作業を開始して下さい。
- 作業はメーカーの発行する整備手順要領書を基本におこなってください。
- 装着後は日頃のメンテナンスを十分に行い、各部の緩み等をチェックし増し締めを行って下さい。
- 表記車種以外の車に取り付ける際の加工については、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書は作業終了後も紛失しないように大切に保管して下さい。
- 一般公道での走行は、道路運送車輛法を守って走行して下さい。

取り付け作業の方へ注意

- 品質には万全を期しております、KIT内アルミパイピングの中にバフ等の研磨剤が付着している事が稀にあります。パイプ取り付けの際には、事前に点検・洗浄を行って下さい。

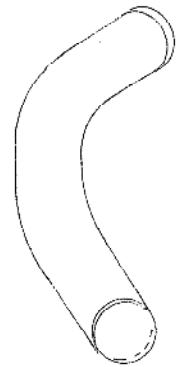
□構成部品及び付属品リスト□



インタークーラーASSY (1個)



インターパイプ 47° φ 70 No.1 (1個)



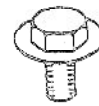
インターパイプ 47° φ 70 No.2 (1個)



ホースφ 70 (4個)



クランプ φ 70用 (8個)



ボルトM8×15 (5個)



ボルトM6×20 (3個)



ボルトM6×15 (10個)



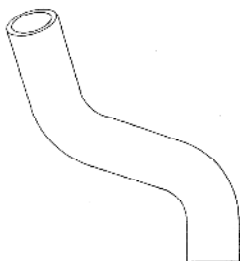
ボルトM6×8 (4個)



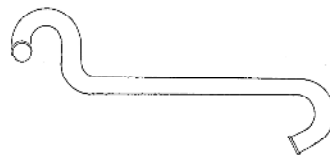
ナットM6 (13個)



タイラップ (10個)



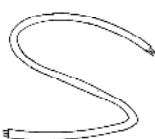
ラジエーターホース (1個)



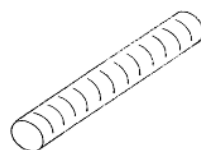
バッシング 47° 47° φ 12 (1個)



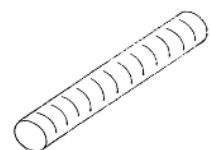
アルミスペーサー (1個)



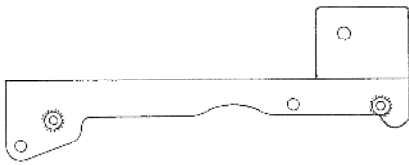
配線 2.4M (1個)



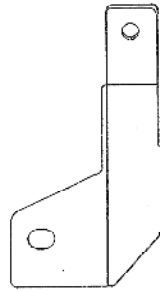
コイルチューブ φ 19



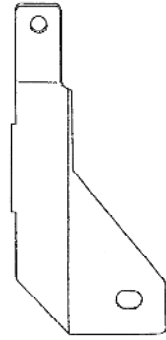
コイルチューブ φ 15



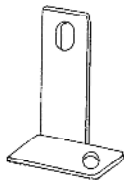
1/4インチトッププレート No. 114 (1 個)



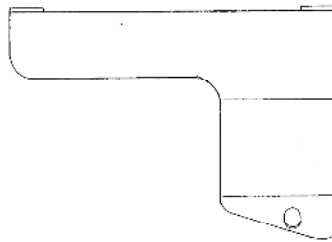
1/4インチサイドプレート(LH) No. 115 (1 個)



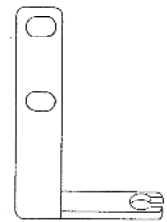
1/4インチサイドプレート(RH) No. 116 (1 個)



プレート、エアデフレーションタンク No. 117 (1 個)



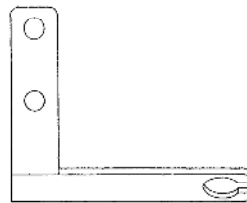
プレート、レーザービームユニット(1/4) No. 118 (1 個)



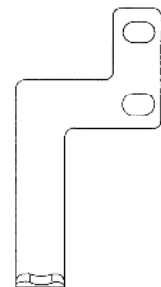
A/コンデンサプレート No. 119 (1 個)



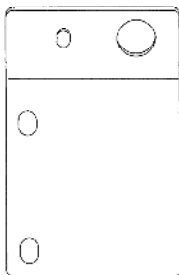
A/コンデンサプレート No. 120 (1 個)



A/コンデンサプレート No. 121 (1 個)



A/コンデンサプレート No. 122 (1 個)



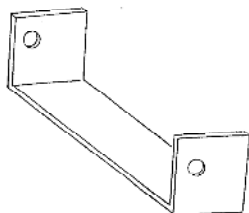
レーザービームマウントブラケット(RH) No. 123 (1 個)



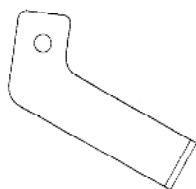
レーザービームマウントブラケット(LH) No. 124 (1 個)



プレート、バッテリーパック/クリーナー No. 125 (1 個)



バッテリーキャリアー No.126(1個)



レーザー固定ステー No.127(1個)

FD3S RX-7 I/CKIT 組み付け作業手順

作業の方へお願い !

□作業が終了しましたら、本取扱説明書は必ずお客様に返却してください。

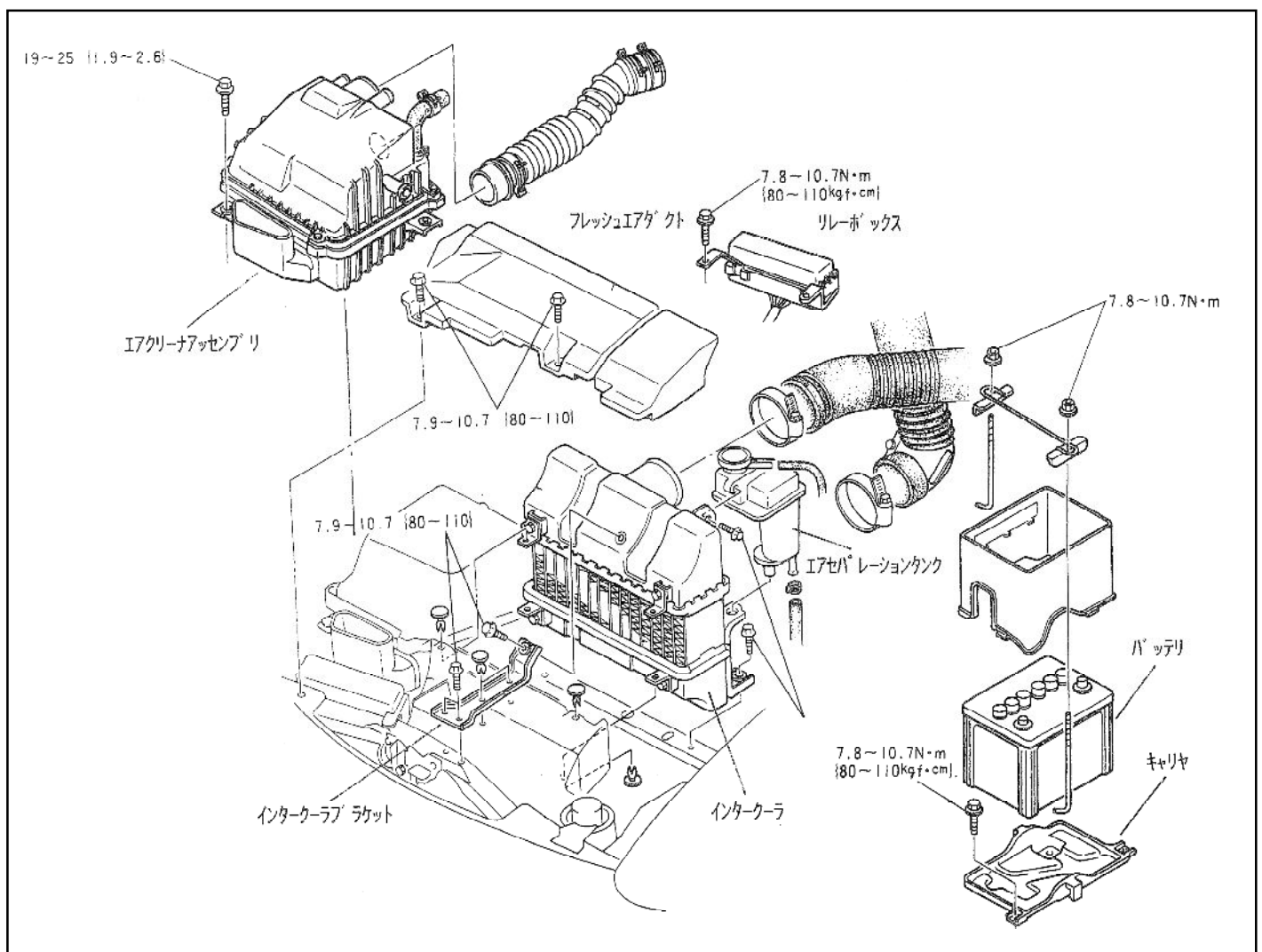
■ ノーマルパーツ取り外し ■

1. エアコン冷媒ガスの回収

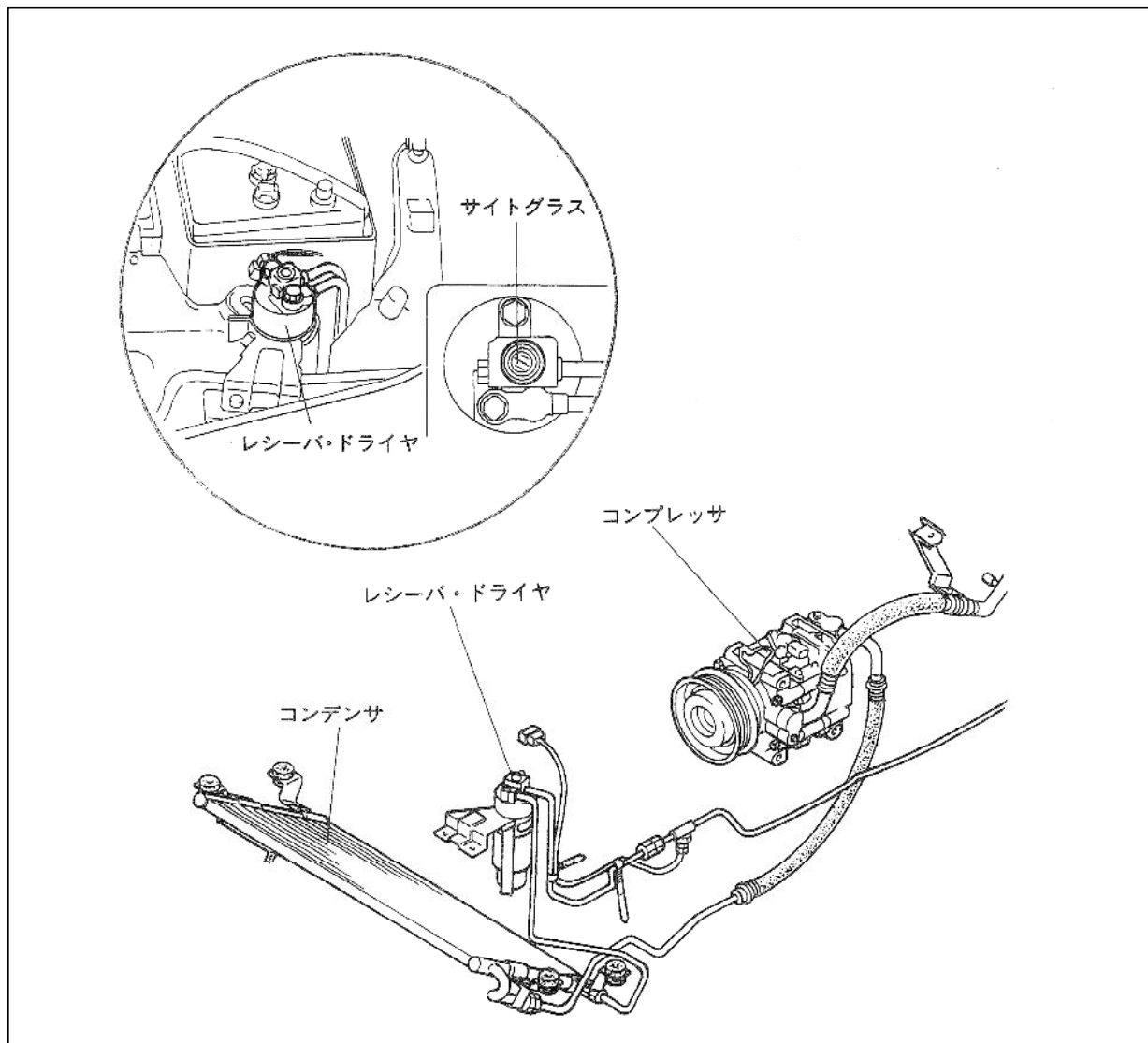
- しっかりとした設備のある工場（ディーラー等）で専門の知識のある方が冷媒ガスの回収作業を行って下さい。

地球環境に悪影響を及ぼす恐れがあるので作業はくれぐれも慎重におこなって下さい。

FD3S 脱着構成図



2. バッテリーのマイナス端子を外し、バッテリー及びキャリヤを取り外して下さい。
3. ラジエータの冷却水を抜いて下さい。
4. エンジンアンダ・カバーを取り外して下さい。
5. レシーバドライヤの配管（高圧側・低圧側）をそれぞれ切り離して下さい。



【注意】 A/C部品を外した場合は、直ちにプラグ・ビニールテープ等で大気と遮断する事！

6. インタークーラ本体の取り外し

脱着構成図に従いインタークーラ、フレッシュエアダクト、エアセパレーションタンク、インタークーラブラケットを取り外して下さい。

※インタークーラダクトはレシーバドライヤを持ち上げながら取り外して下さい。

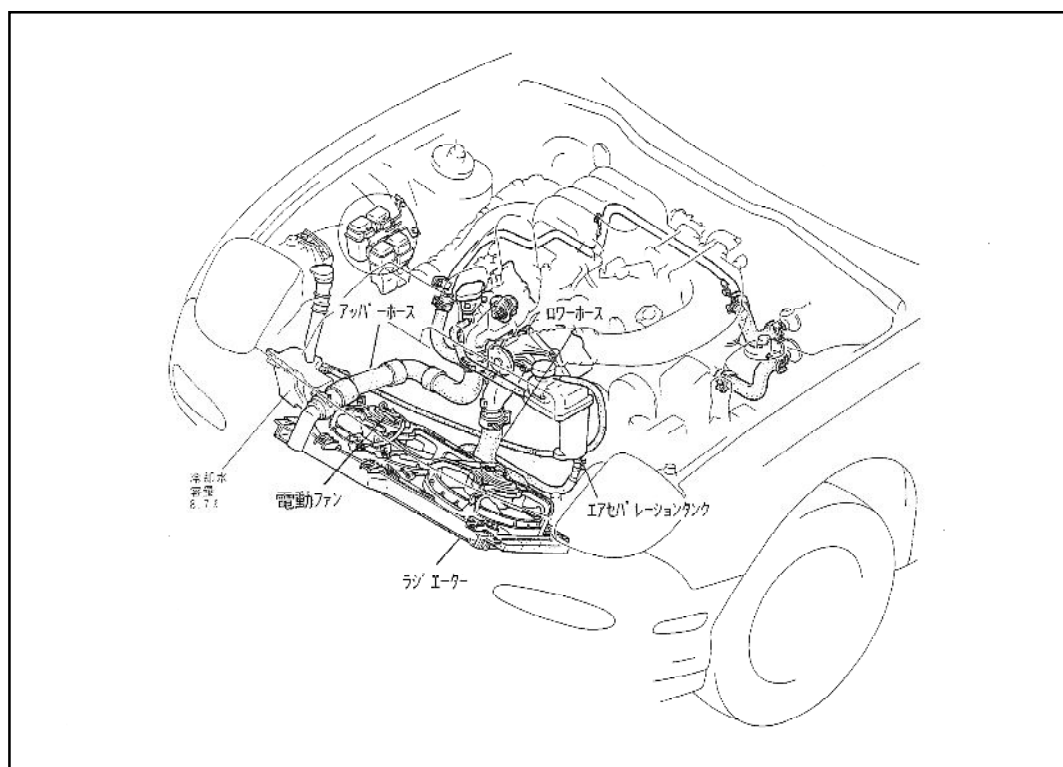
7. エアクリーナアッセンブリ及びブラケットを取り外して下さい。

※エアクリーナアッセンブリは本KITの装着により使用不可となります。

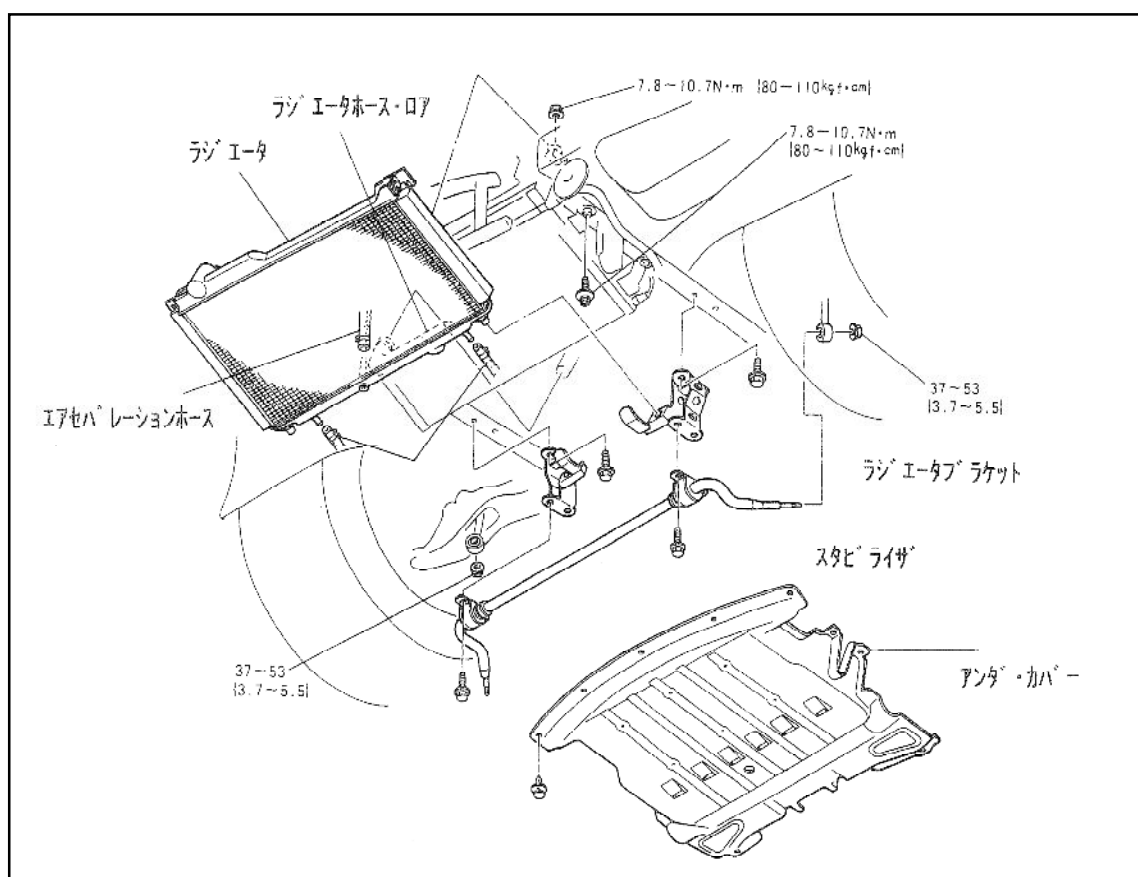
8. リレーボックスを固定してあるボルトを取り外しフリーの状態にして下さい。

9. ラジエーターホース（アッパー、ロワー）をそれぞれエンジン側で切り離して下さい。

10. 電動ファンのカプラーを外して下さい。

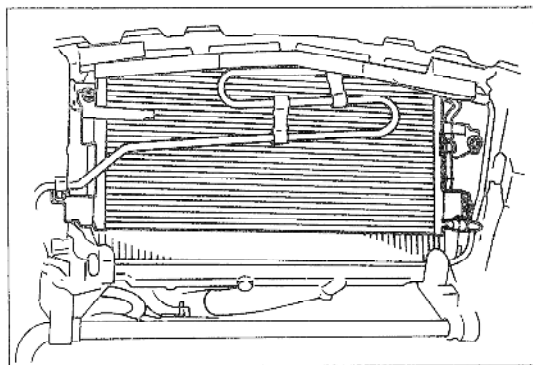


11. 下図に従いラジエーター及び電動ファンを車両より取り外して下さい。

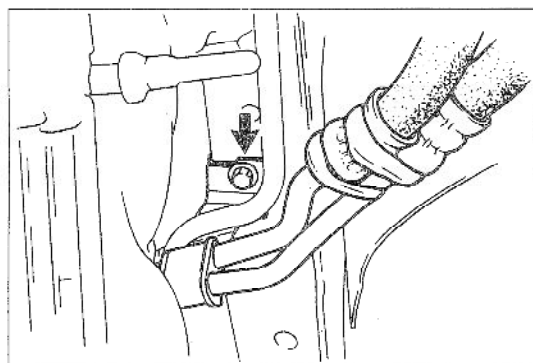


取外し時の留意点

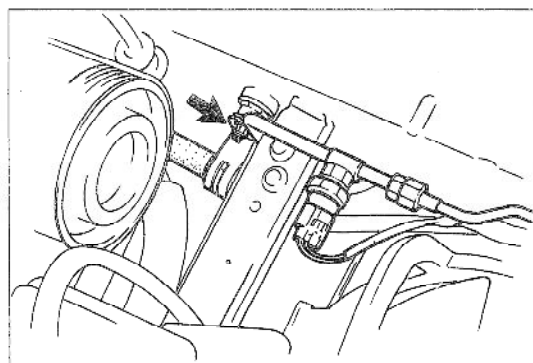
ラジエータ アンド 電動ファン



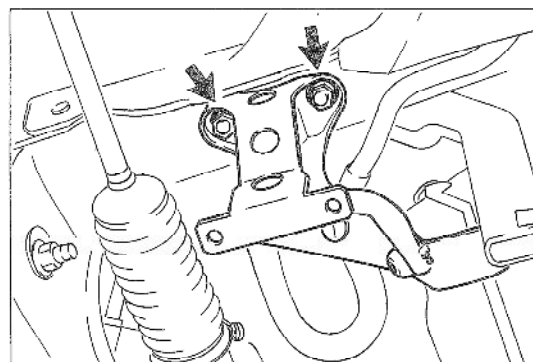
1. 図示のボルトを外し、コンデンサ・アッセンブリをラジエータより少し離して車体側にロープ等で吊っておく。



2. 図示箇所のオイル・パイプ・ブラケットを取外す。



3. 図示箇所のA/C高圧パイプ・ブラケットを取外す。

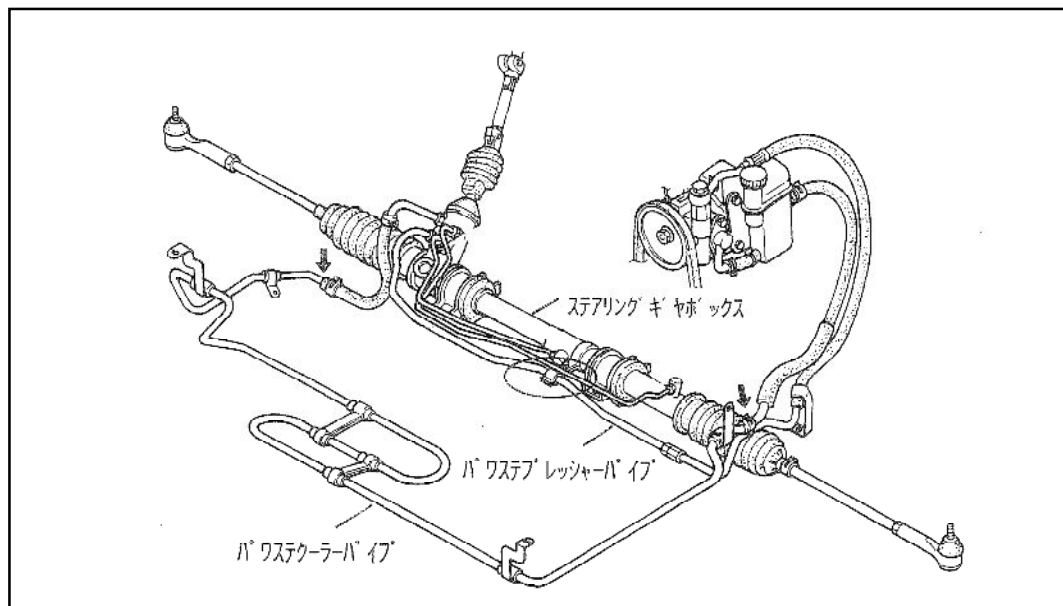


4. ラジエータ アンド 電動ファンが落下しないよう保持しながらラジエータ・ブラケットを取外す。
5. ラジエータ アンド 電動ファンを、コンデンサに干渉しないよう注意しながら斜め下方へ抜取る。

注意

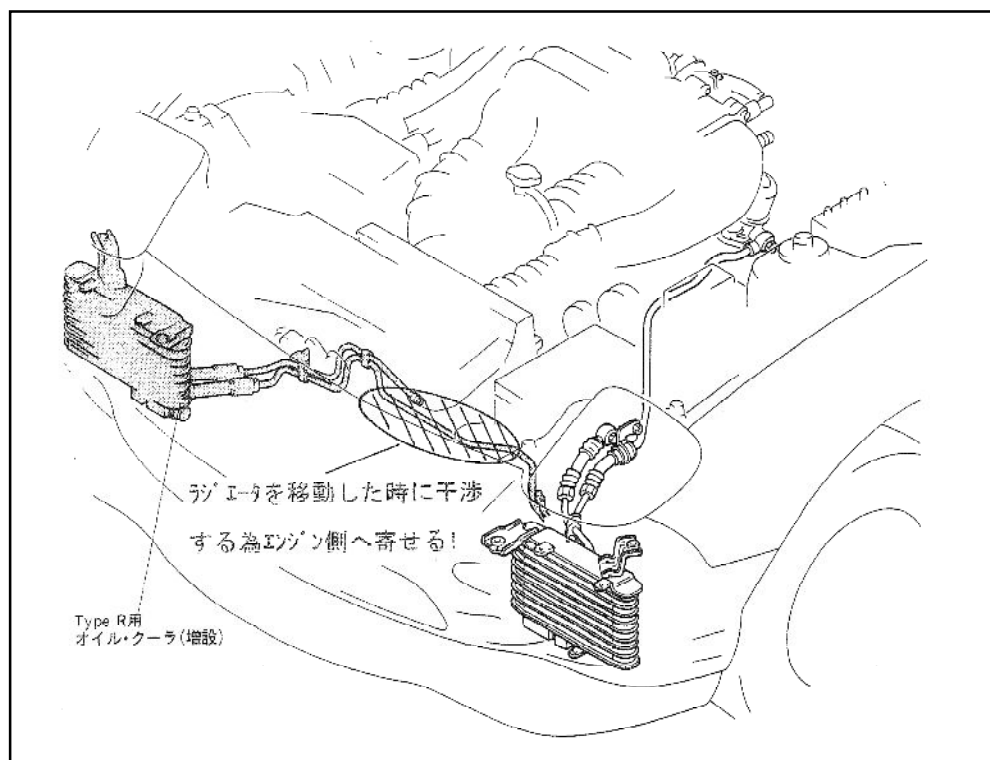
- ラジエータのフィンにコンデンサに接触させない。

12. パワステクーラーパイプを下図矢印部よりとりはずして下さい。
また、下図○部のブラケットを緩めパワステプレッシャーパイプをステアリングギヤボックス側へ寄せ、再度ブラケットで固定して下さい。



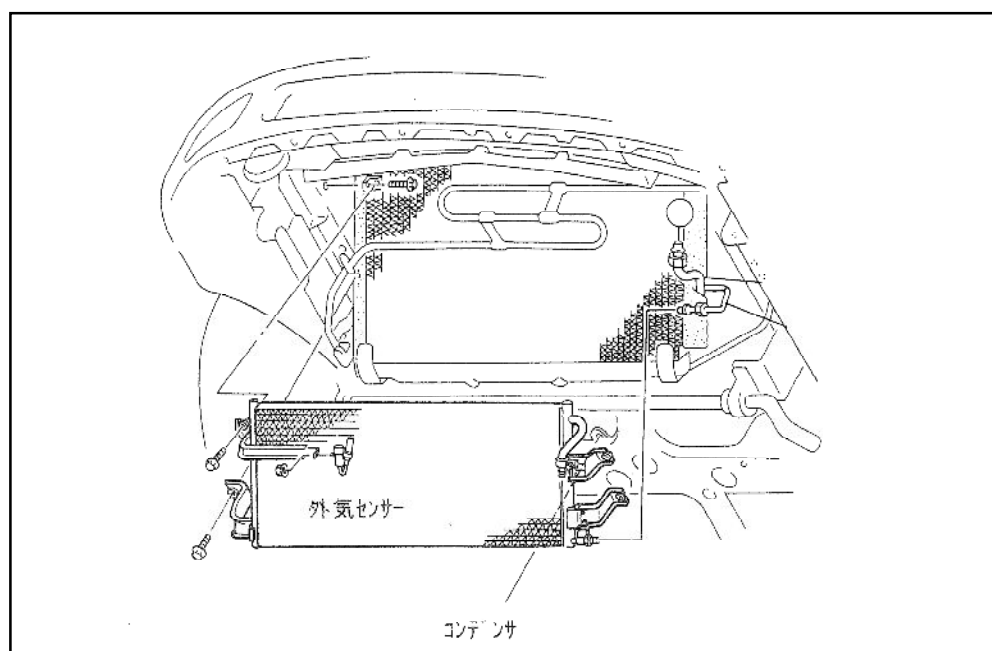
※プラグ・ボルト等で簡易的にメクラをしパワステフルードが洩れない様にして下さい。

13. オイルクーラのオイルパイプを曲げ加工しエンジン側へ寄せて下さい。



※急激に無理な力を加えると折損する恐れがあるので注意して下さい。

14. エアコンコンデンサASSYを取り外して下さい。



※外気センサーのコネクターを抜いて下さい。

※ステー（4ヶ所）は取り外して下さい。

※インシュレーターは再使用しますので紛失しないよう注意して下さい。

■ KITパーツ取り付け ■

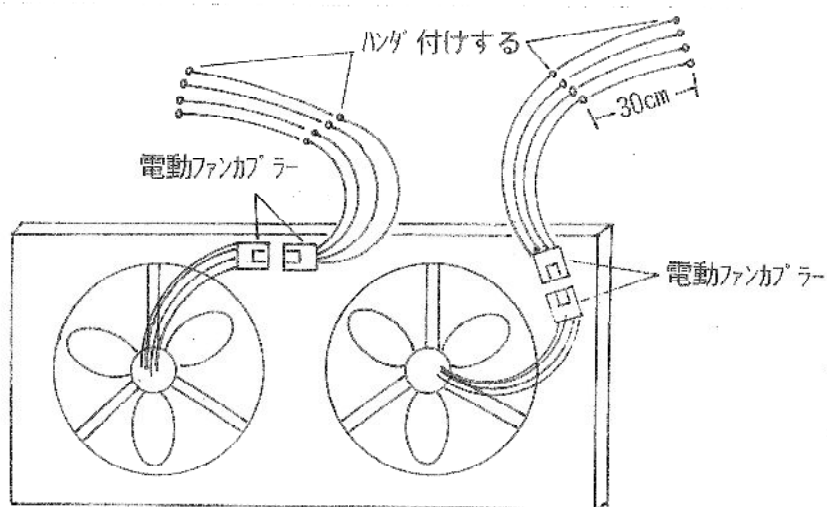
【次の事項をご確認ください】

- ・本KITの取り付けステーにはNoが記されています。
- ・本文中に使用されているNoは、すべて使用するステーのNoと一致します。

1. 電動ファンハーネスの延長

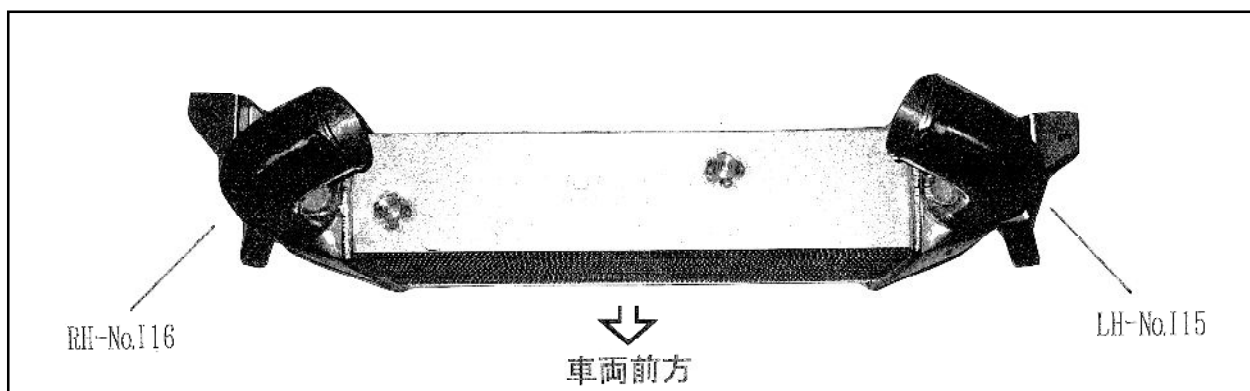
付属の配線コードを使用してリレーBOXから出ている配線を各々30cm程度延長して下さい。

※配線と配線はハンダ付けで固定しビニールテープ等で絶縁して下さい。
※各配線コードは4本ずつ付属のコルゲートチューブで束ねて下さい。

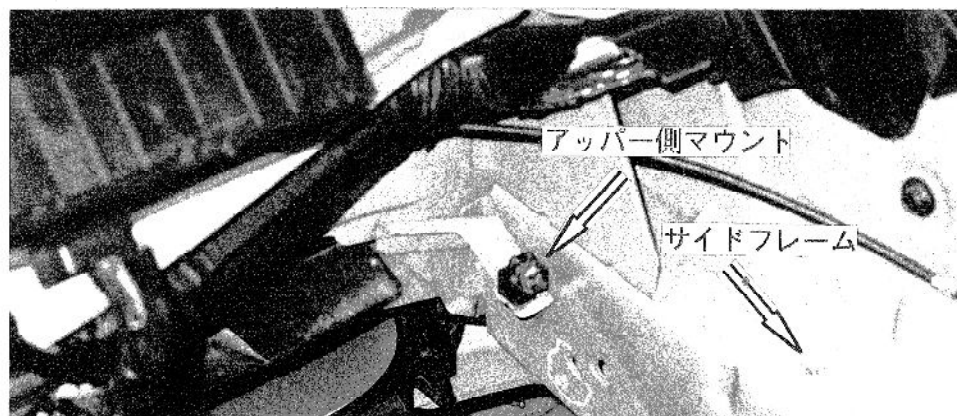


2. インタークーラー本体の取り付け

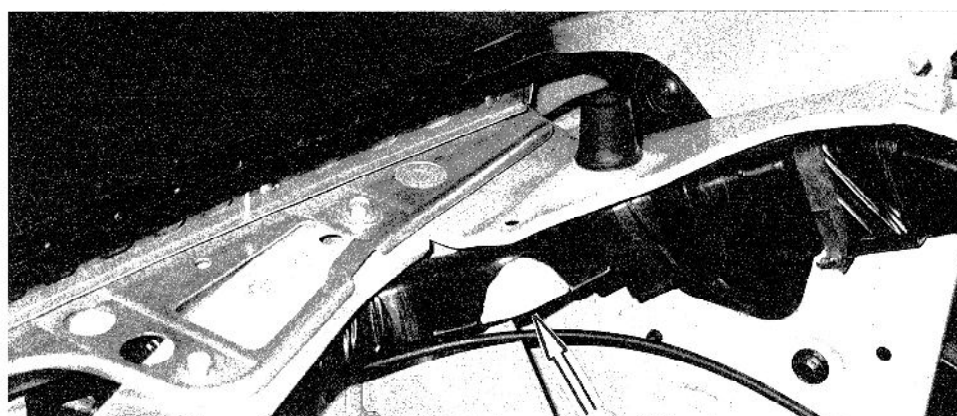
- ①付属のサイドステー（LH-No.115／RH-No.116）をボルトM8×15を使用し、それぞれ仮止めて下さい。



- ②ラジエータのアップー側マウントにサイドステーをマウントして純正ナット（M6）で固定し、サイドフレームに（M6×20）2本を使用して固定して下さい。

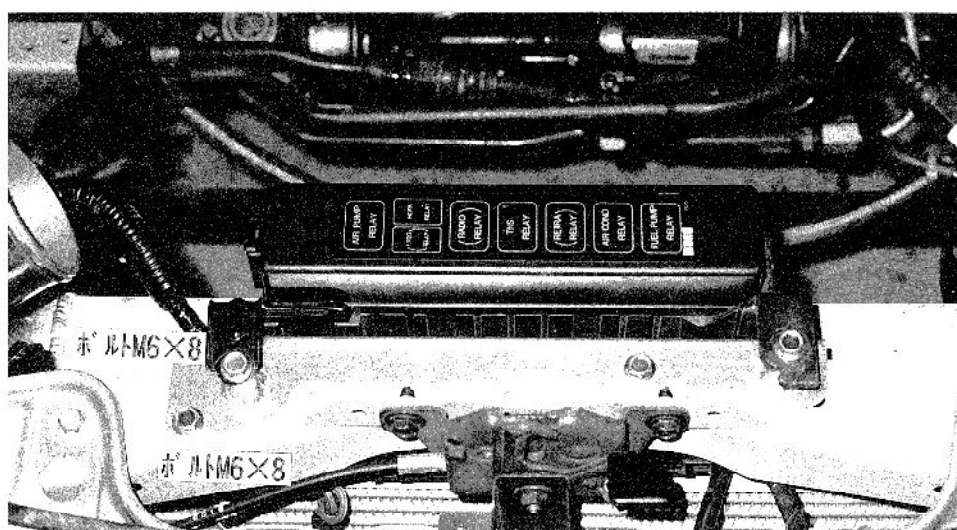


- ※インタークーラーサイドタンクがエンジンハーネスに干渉する場合は図の白色部を切り取って取り付けて下さい。



- ③インタークーラーアップーステー（No.114）を取り付けて、サイドステーのボルトを本締めして下さい。

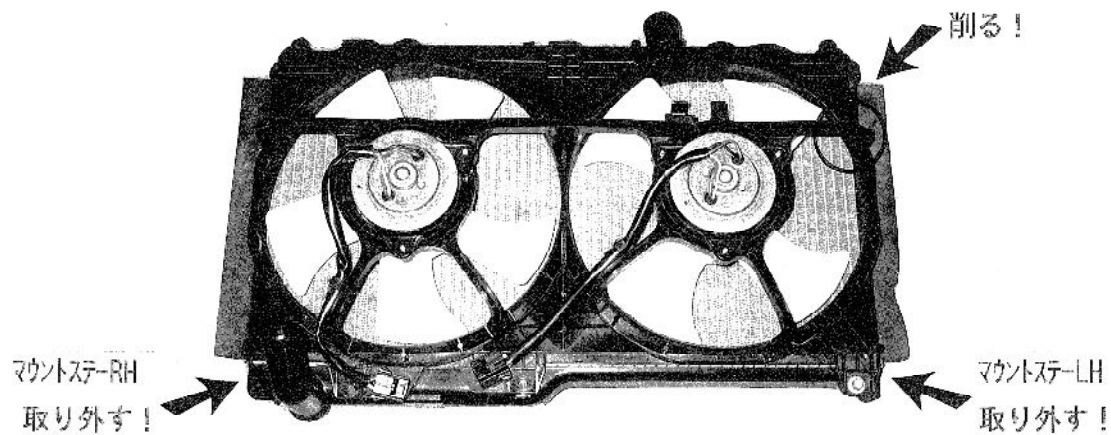
- ④インタークーラーアップーステーにボルト（M6×8）を使用してリレーBOXを固定して下さい。



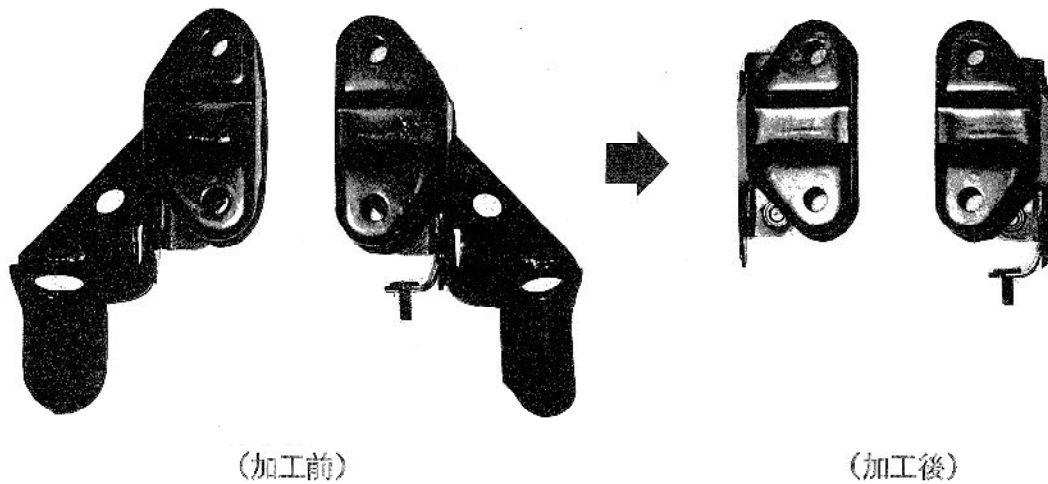
3. ラジエータ本体の取り付け

①ラジエータアッパー側マウントステー(LH/RH)を取り外して下さい。

②下図○部の電動ファンのガイドを削って下さい。



③純正のラジエータブラケット(LH/RH)を下図の様にカット加工して下さい。



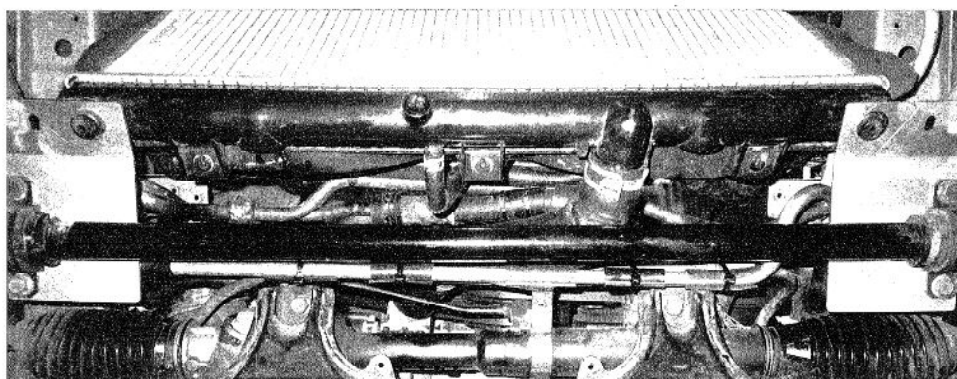
※溶接部を削って切り離して下さい。

※加工部は塗装を施し、錆の防止に努めて下さい。

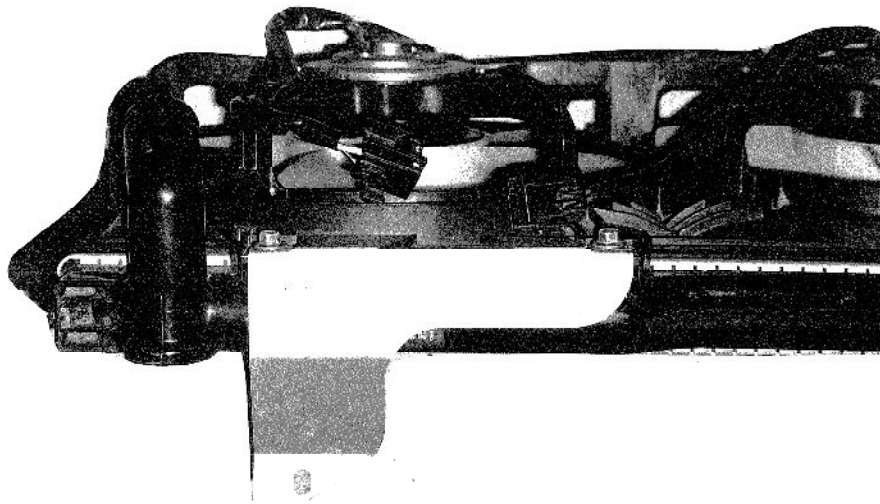
※加工後は元通り車両に取り付けて下さい。

④K I T付属のラジエータマウントブラケット(LH/RH)を純正のボルトを使用してスタビライザと共締めして下さい。

※マウントブラケットの番号は(LH-No.I24/RH-No.I23)です。



- ⑤ラジエータ本体にステー(No.118)を取り付け(純正ボルトを使用し電動ファンと共締め)
インタークーラ本体上部のボスに付属のボルト(M8×15)を使用して取り付けて下さい。

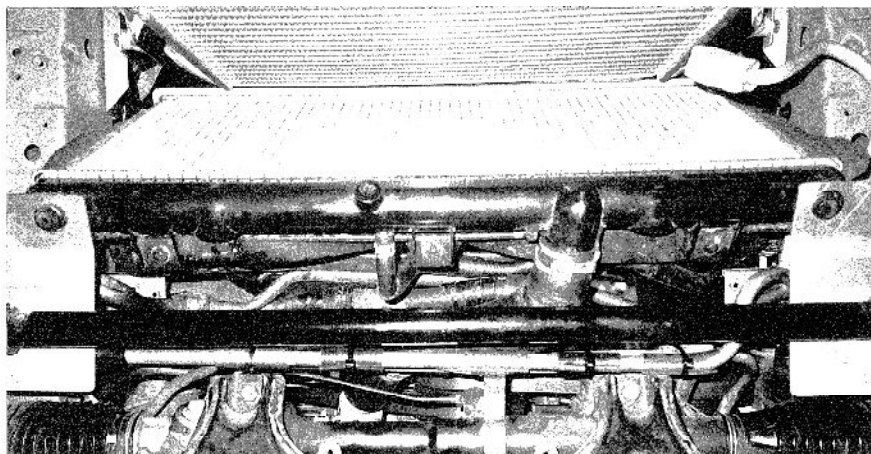


※ラジエータ本体がインタークーラと平行になる様調整して固定して下さい。

- ⑥電動ファンのコネクターを挿して下さい。

- ⑦パワステクーラーパイプ(KIT付属)の取り付け

取り外した純正のパワステクーラーパイプの代わりにKIT付属のパイプを
取り付けて下さい。



※クランプは純正品を再使用して下さい。

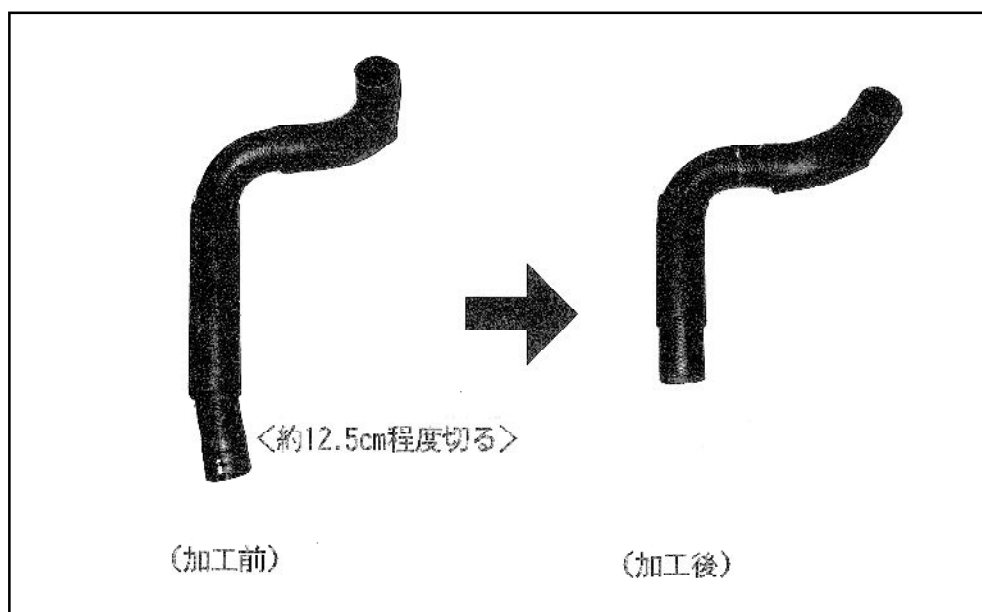
※KIT付属のコルゲートチューブφ15を適当な長さに切って巻き、タイラップ
などで他のパイプと固定して下さい。

- ⑧ラジエータロワーホースの取り付け

KIT付属のロワーホースを純正のクランプを使用して取り付けて下さい。

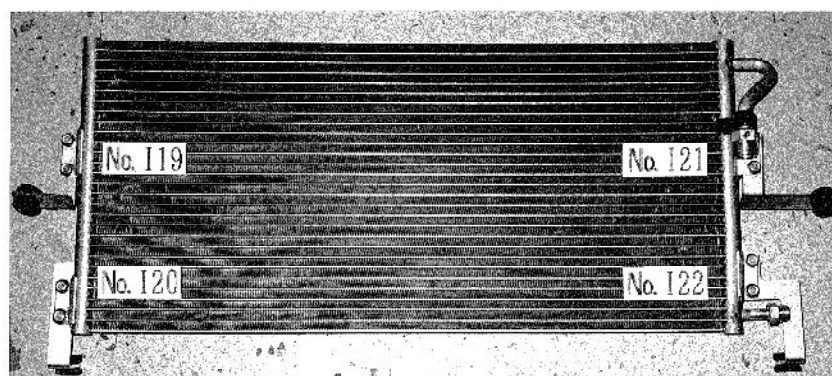
※ロワーホースがラジエータの傾き具合によって干渉する場合があります。その場合
〈ノーマルパーツ取り外し〉の項目12.の説明に従ってプレッシャーパイプを逃がして
下さい。

⑨ラジエータアッパーホースを下図を参考にカット加工し取り付けて下さい。



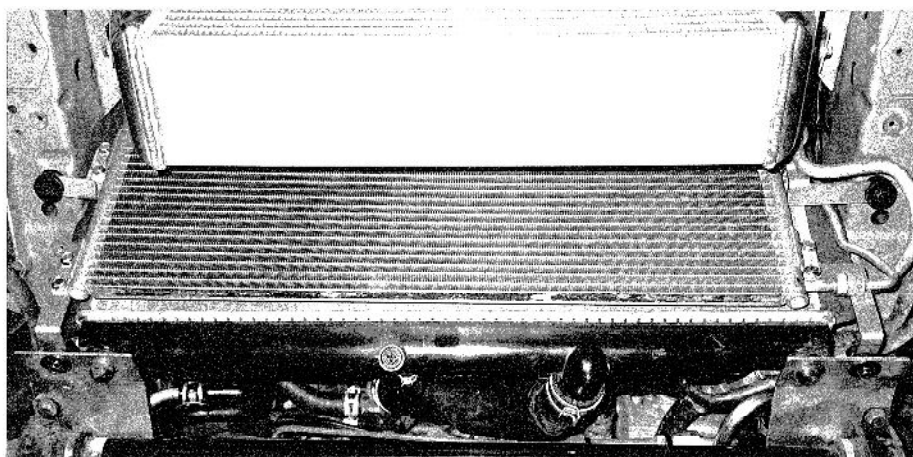
4. エアコンコンデンサの取り付け

①K I T付属のステー(No.119~No.122)をそれぞれ下図の様にコンデンサに取り付けて下さい。使用するボルトは(M6×15=8個)、(M6ナット=8個)です。

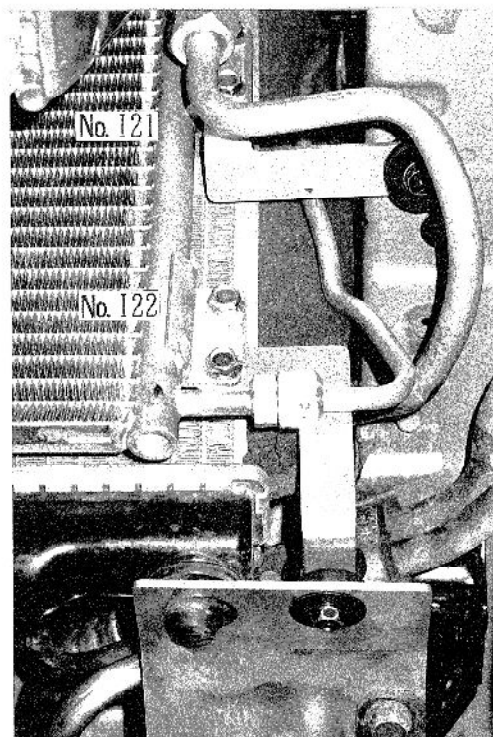
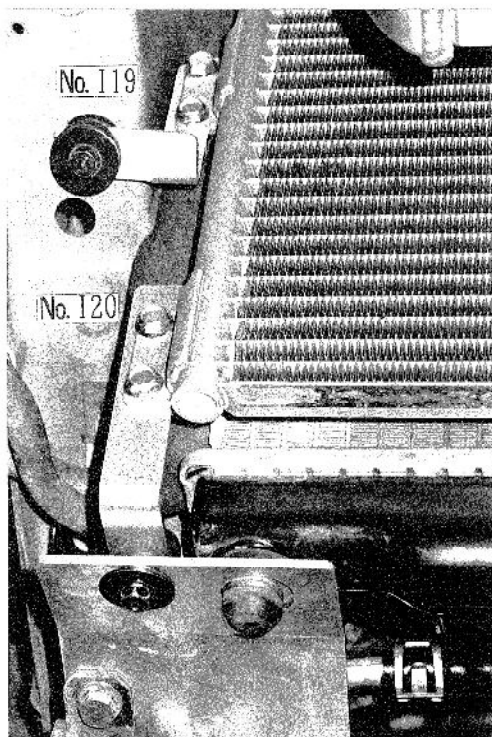


※インシュレーターを忘れずに取り付けて下さい。

②エアコンコンデンサを車両に取り付けて下さい。ボルトはコンデンサを純正位置に固定していた物を使用し、ナットはK I T付属のM6ナット(2個)を使用して下さい。



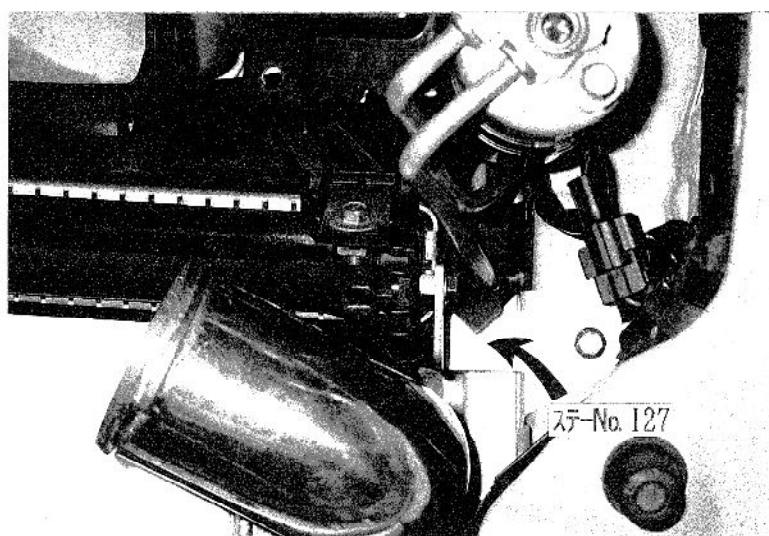
◆ボディー両サイドとラジエータマウントステーにて固定する。



※レシーバドライヤのパイプを曲げ加工し、コンデンサ及びコンプレッサー側それぞれ取り付けて下さい。ただし、折損・パイプの潰れ等に注意して下さい。

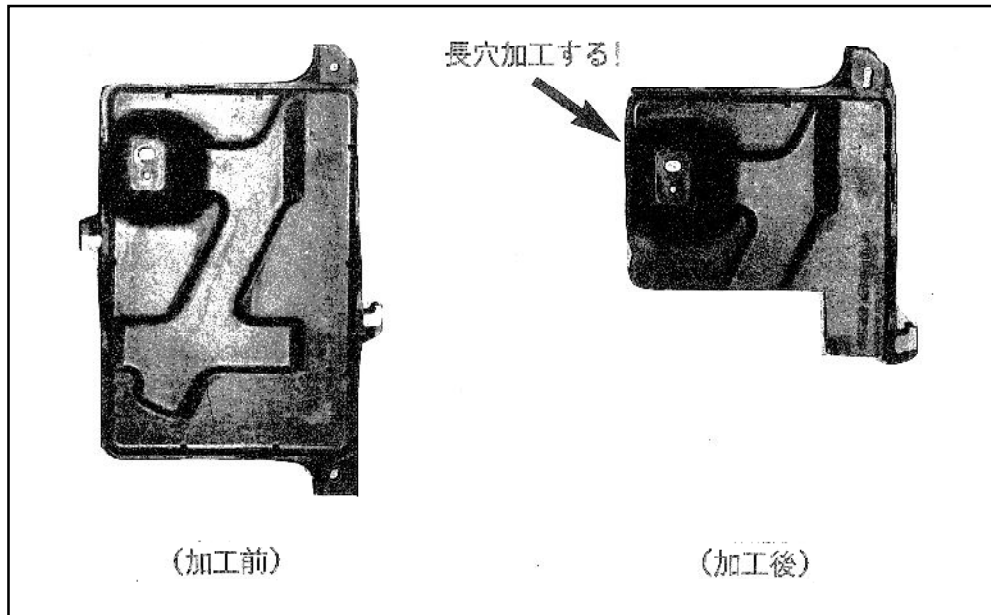
※ラジエータやI/Cコアに干渉しない様調整して下さい。もし、干渉する場合はラジエータとI/C上部を固定しているステーのボルトを緩め、ラジエータの角度を調整して下さい。

③ラジエータ固定ステー(No.127)及びアルミスペーサーを使用し、ラジエータ左サイドをボディーと固定して下さい。ボルトは付属の(M6×20)を使用しボディー側はサイドステーと共締めして下さい。

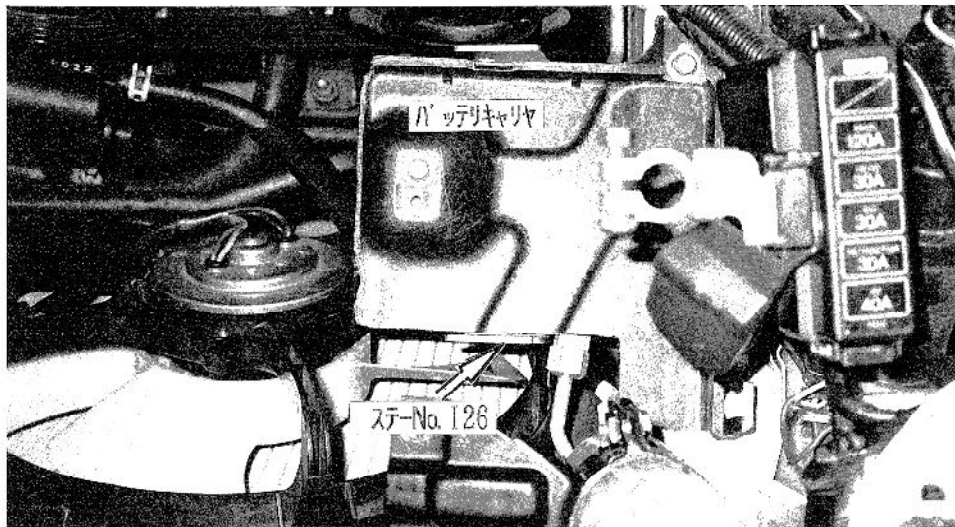


5. バッテリーの取り付け

- ①下図を参考にしてバッテリーキャリアを40B19Lのバッテリーサイズにカット加工して下さい。
また、取り付け穴を長穴加工して下さい。



- ②ステー (No.126) の上にバッテリーキャリアを置き純正ボルトと付属のM6ナットを使用して固定して下さい。



- ③バッテリー40B19Lをバッテリーキャリアに載せ純正のバッテリーロッドFIX2本とステー (No.125) を使用してバッテリーを固定して下さい。

※締めすぎない様注意して下さい。

- ④レギュレータを付属のボルト (M6×15=2個)・ナット (M6=2個) を使用しステー (No.125) に固定して下さい。

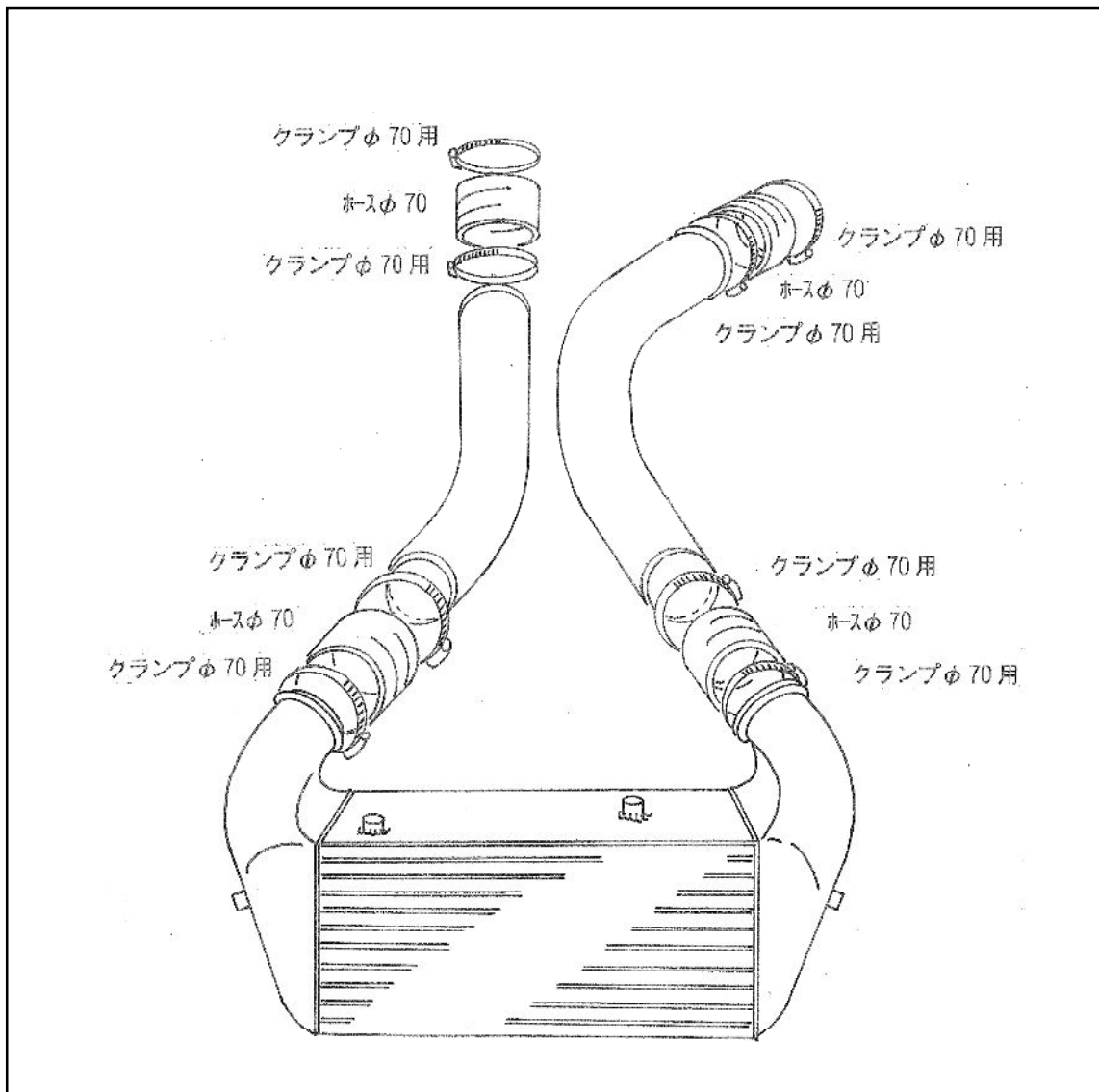
- ⑤バッテリーターミナルをB端子に変更して下さい。

※マイナス端子はすべての作業終了まで取り付けないで下さい。

6. インテークパイプの配管

KIT内パイプφ70(N0.1~N0.2)を、各サイズのクランプとホースを使用して、下図の様に配管してください。

尚、各パイプにはパイプNO.と方向を記したステッカーが貼られています。



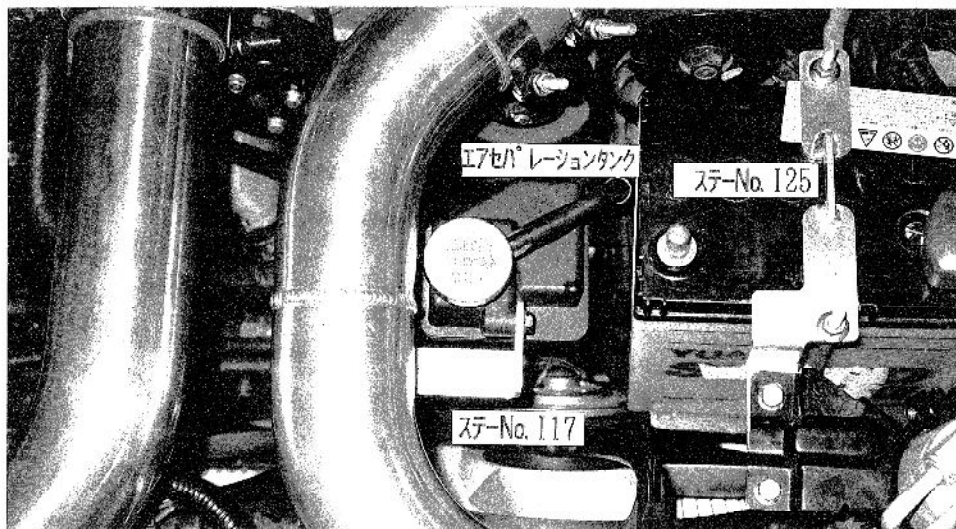
※No.1のパイプとボンネットスタンドとのクリアランスに注意して下さい。

【ペイント用紙の使用方法】

- その1 文字の位置決めはバンパーの開口部にそって必ず実車あわせで行って下さい。
- その2 ペイント用紙の裏側に両面テープ等を使用し、1/Cコアに貼ってください。
- その3 周りをしっかりとマスキングし、スプレー缶で好みの色にペイントして下さい。

7. エアセパレーションタンクの取り付け

ステー(No.117)及びボルト(M8×15)・純正ボルトを使用してパイプNO.2の取り付けボスに固定して下さい。



※エアセパレーションタンクからリザーバタンクへのホースを挿して下さい。ホースは邪魔にならない場所へタイアップ等で固定して下さい。

冷却水注入

もう一度ラジエータ周りを点検して冷却水を入れ下記に従いしっかりとエア抜きを行なって下さい。

- ①冷却水をラジエータの注入口上面までゆっくり注入する。
 - ②ラジエータ・キャップ及び注水キャップを確実に取り付ける。
 - ③エンジンを始動しサーモスタットが開くまで暖機する。
- 注意 水温計が異常に上昇し、水温計の針が中央を越える場合はエアが残っているのでエンジンを止めて冷却水が冷えるまで待ち、1～3項の作業を繰り返す。
- ④エンジンを数回空吹かしさせた後、エンジンを停止する。
 - ⑤エンジンが冷えた状態でラジエータ・キャップ及び注水キャップを取り外し、再び注水口いっぱいまで冷却水を補充する。
 - ⑥注水キャップを取り付ける。

パワー・ステアリング・フルードの補充・エア抜き

- ①前輪をジャッキアップする。
- ②ステアリングホイールを左右いっぱいまで数回、切り返し、油面が下がればフルードを補充する。
- ③フルードの減少がなくなるまで、この作業を繰り返す。
- ④エンジンを始動して、アイドリング回転でステアリング・ホイールを左右いっぱいまで数回、切り返し、フルード減少及びいちじるしい泡立ちがなくなるまで続ける。

8. エンジンの始動に当たって

必ず換気の良い場所で行ってください。

各配管を点検して、バッテリーの(－)端子を接続し、エンジンを始動して下さい。

各接続部分のエア漏れ、水漏れ、オイル漏れ、干渉等がないかアイドリング状態で点検してください。

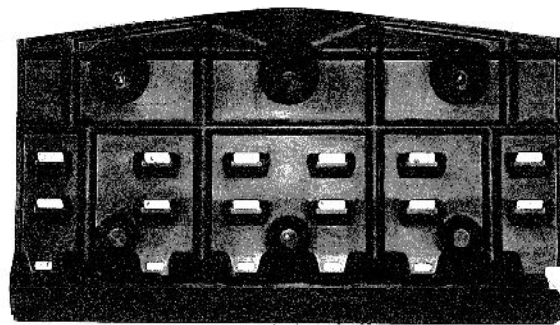
特に、エアコンの配管は最後にもう一度確認して下さい。

注意

エアクリーナーボックスは取り付けできません

9. E/Gアングカバーの取り付け

①リベット止めされているアングカバーNo2をリベットをドリル等で揉み取り外して下さい。

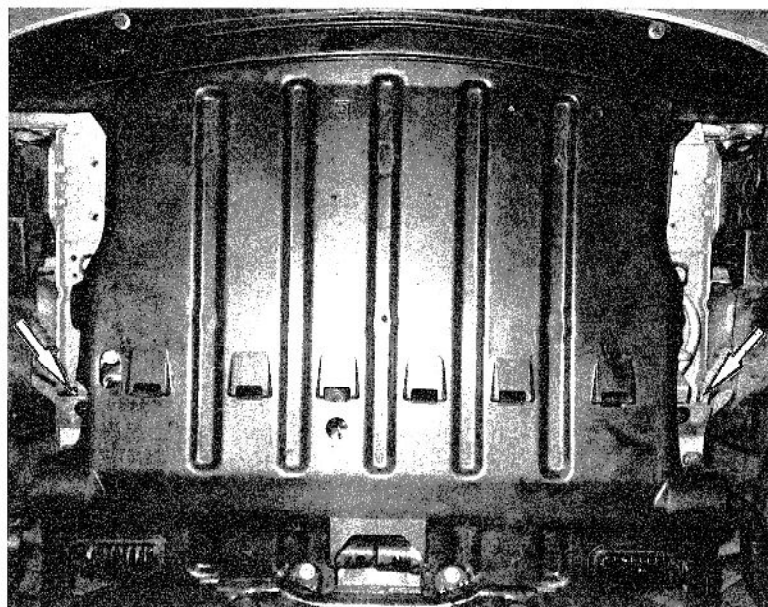


コレは使用しません！

(アングカバーNo.2)

②下図を参考にしてアングカバーがラジエータマウントブラケットに干渉する部分を切り取って取り付けて下さい。

注意 加工時は保護メガネ・マスク・軍手等を着用して、安全に作業して下さい。



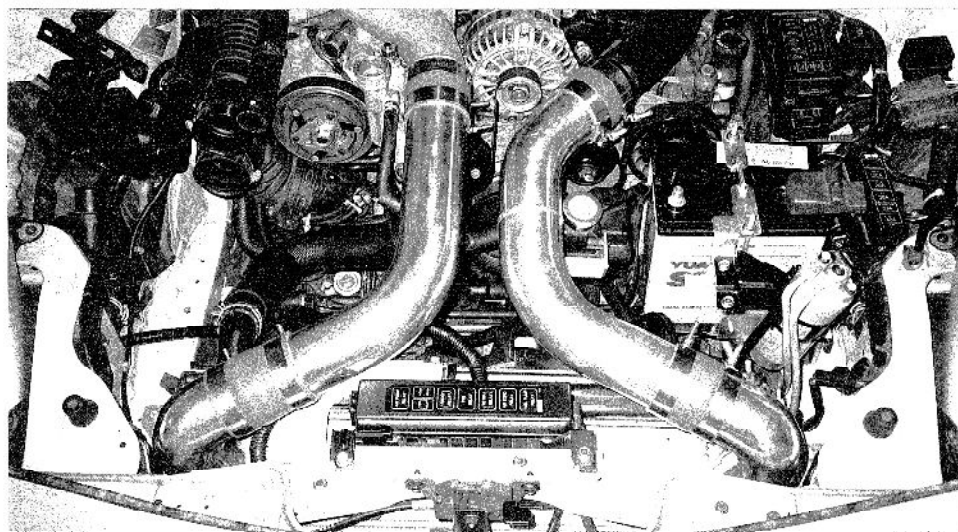
ブラケットに干渉するので切り取って下さい！

ブラケットに干渉するので切り取って下さい！

10. 冷媒ガスの充填

設備のある工場（ディーラー等）で専門の知識のある方が冷媒ガスの真空引き
充填等の作業を行なって下さい。

【KIT 装着図】



以上でKITの取り付けは終了です

■ テスト走行を行い、各部に不具合がないかどうか確認して下さい。もし不具合
のある場合は、もう一度本取扱説明書をよく読み各部のチェックを行って下さい。

BL⚡TZ